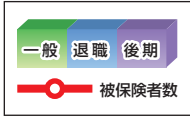
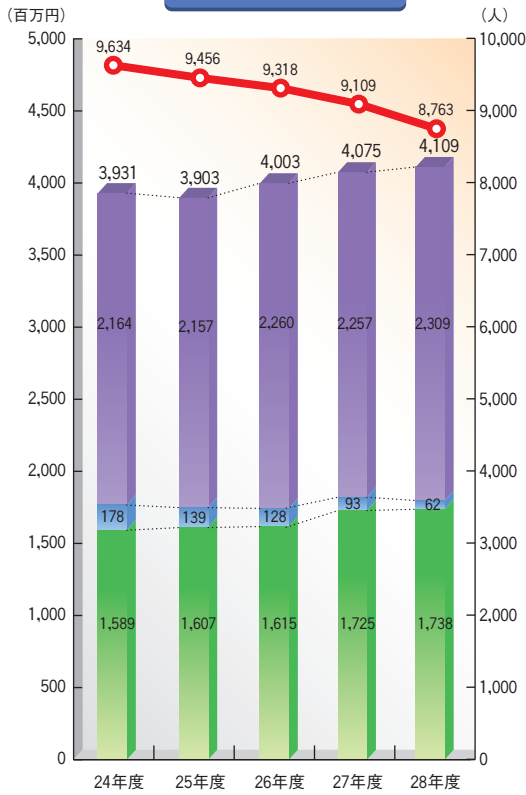


那珂川町

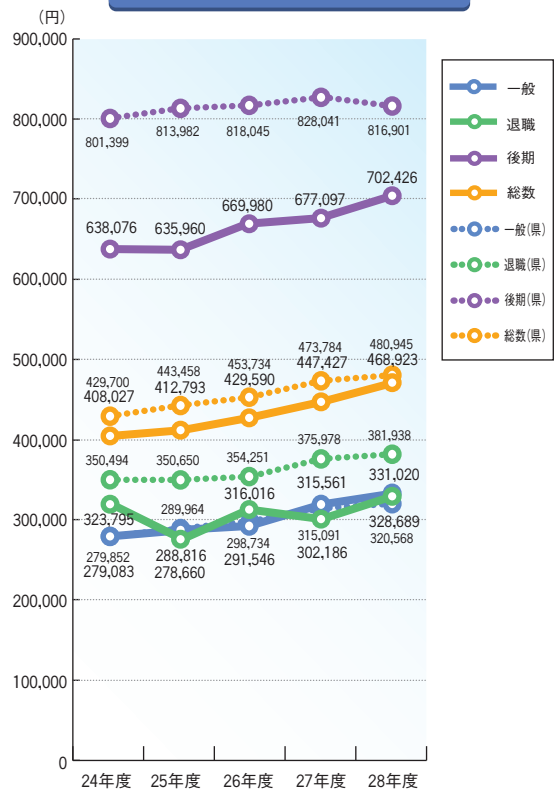
那珂川町



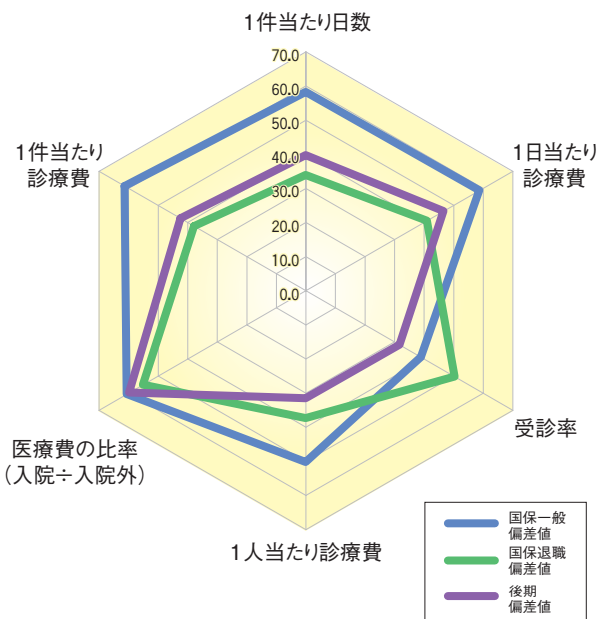
医療費の推移



1人当たり医療費の推移

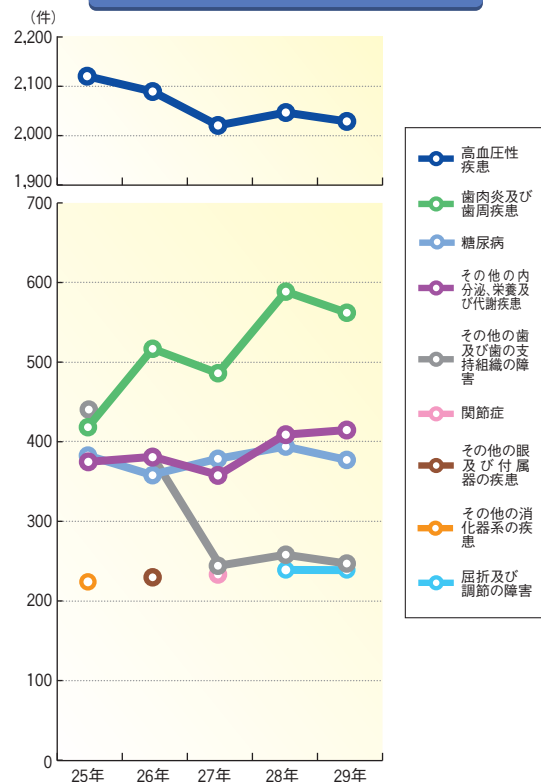


平成28年度 3要素と医療費諸費(県平均との比較)

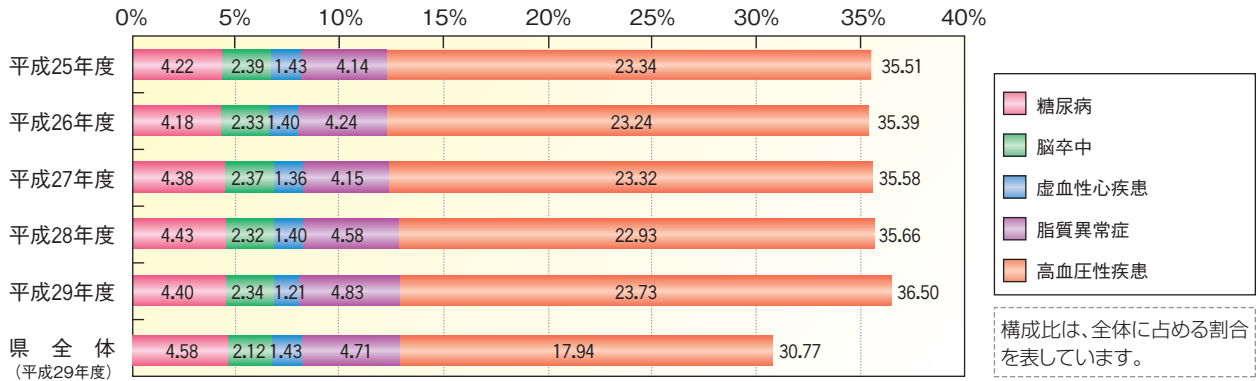


レーダーチャートでは、全ての軸のスケールは偏差値として統一されています。栃木県(平均)が50となるため、値が50の頂点を結ぶ正六角形が栃木県のレーダーチャートになり、当該地域の傾向が正六角形のずれ具合として把握できます。

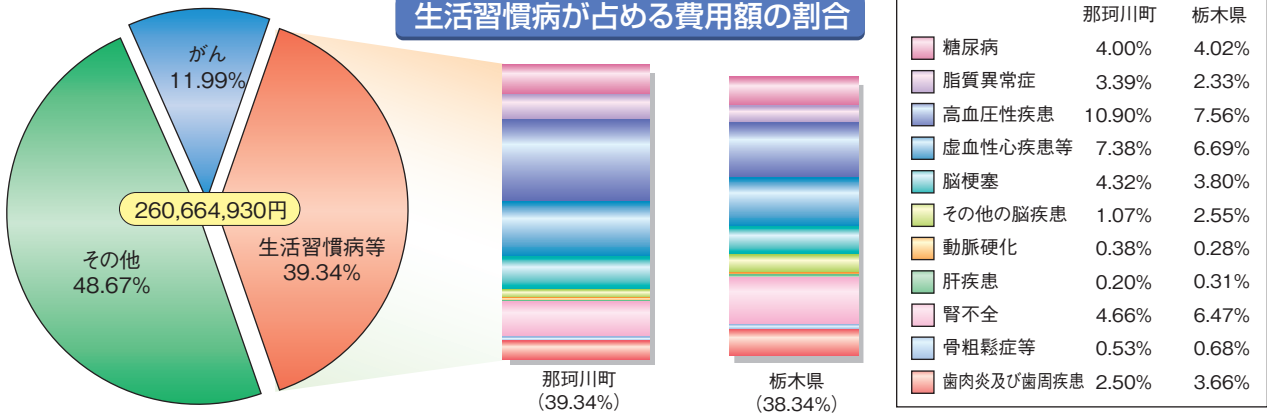
多受診疾病上位6位の推移



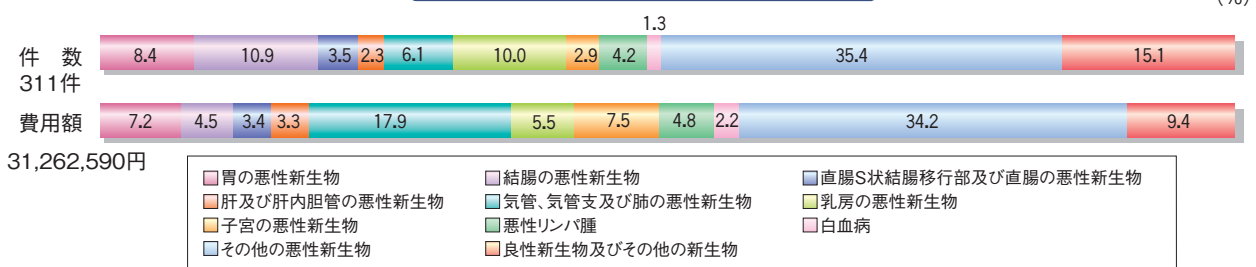
生活習慣病5年間の件数の推移(構成比)



生活習慣病が占める費用額の割合



がんの件数・費用額割合(部位別)



那珂川町の状況

★医療費の状況及び被保険者数

平成28年度の医療費(療養諸費)の推移をみると、一般1,738,109千円(100.7%)、退職62,232千円(66.9%)、後期2,308,757千円(102.3%)で、全体では4,109,097千円(100.8%)と増加している。()は前年度との比較。

平成28年度平均被保険者数は8,763人で、内訳は一般5,288人、退職188人、後期3,287人である。前年度比較すると全体で96.2%と減少している。

また、平成28年度の1人当たり医療費の推移をみると、総数は468,923円(21,496円増)、一般は328,689円(13,128円増)、退職は331,020円(28,834円増)、後期は702,426円(25,329円増)である。()は前年度との比較。

3要素(受診率、1件当たり日数、1日当たり診療費)と医療費諸費(県平均との比較)をみると、一般は受診率を除きいずれも県平均を上回り、退職は受診率、医療費の比率が県平均を上回り、後期は医療費の比率が県平均を上回る偏差値となっている。

★疾病の状況

平成29年5月診療分の件数が多い(多受診)疾病は、1位高血圧性疾患、2位歯肉炎及び歯周疾患、3位その他の内分泌・栄養及び代謝疾患、4位糖尿病、5位その他の歯及び歯の支持組織の障害、6位屈折及び調節の障害で、中でも5位のその他の歯及び歯の支持組織の障害は、平成25年度と比べ、件数は0.55倍、費用額は0.64倍と大幅に減少している。

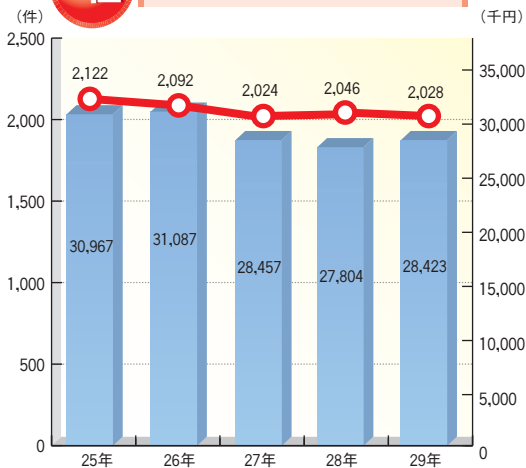
また、5大生活習慣病(糖尿病・脳卒中・虚血性心疾患・脂質異常症・高血圧性疾患)の件数の推移(構成比)をみると、県全体と比べ5疾病全体の構成比はかなり高く、中でも高血圧性疾患は高い構成比となっている。

生活習慣病が占める費用額の割合では、平成29年5月診療分の総費用額が260,664,930円で、がんが11.99%、生活習慣病等が39.34%を占めている(県全体 がん12.74%、生活習慣病等38.34%)。費用額が占める割合が高い疾病は、高血圧性疾患10.90%、虚血性心疾患等7.38%、腎不全4.66%となっている。

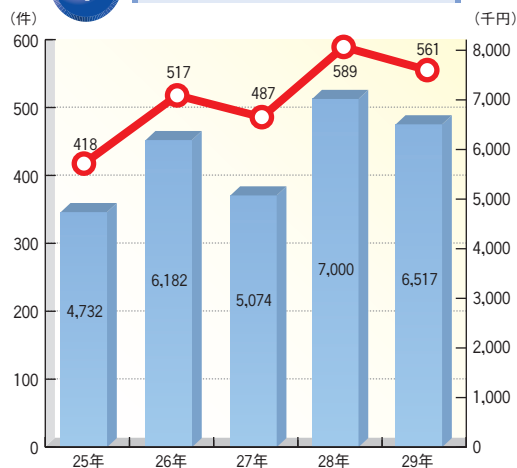
がんの部位別の件数及び費用額の割合は、その他の悪性新生物、良性新生物及びその他の新生物に分類されるものを除き、件数では結腸の悪性新生物、乳房の悪性新生物、費用額では気管・気管支及び肺の悪性新生物が高い割合を占めている。

多受診疾病 上位6の年次推移

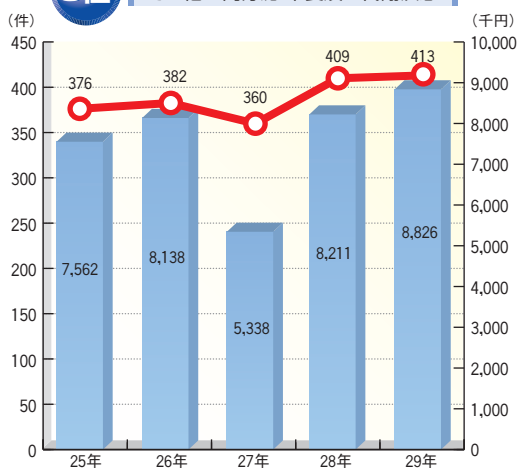
1位 高血圧性疾患



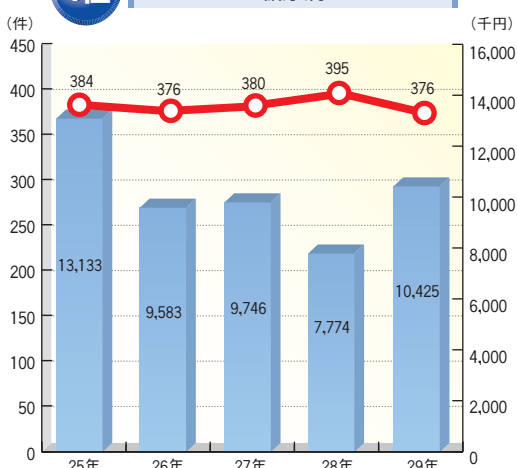
2位 歯肉炎及び歯周疾患



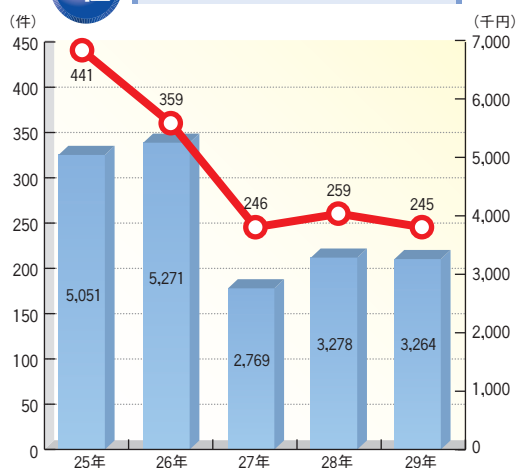
3位 その他の内分泌・栄養及び代謝疾患



4位 糖尿病



5位 その他の歯及び歯の支持組織の障害



6位 屈折及び調節の障害

